

手術室における医療安全について

手術・中材看護師長 佐々木 えつこ

私たち手術チームは、患者さんが安心、安全に手術を受けられるよう病院全体で安全対策に取り組んでいます。まず、安全対策の基本は、「正しい患者さんであること」を確認することからスタートします。当院の外来受診や入院中に何度も「お名前と生年月日を名乗ってください」という経験をされている方も多いのではないのでしょうか。それは、患者さんがご自分の名乗ることでご自身の安全を意識し、安全対策に医療者と参加することが質の高い医療に繋がっていくと言われて



います。特に、侵襲の大きい医療行為が行われる手術においても、患者さんの安全対策の参加は不可欠です。当院では、WHO（世界保健機関）の手術安全チェックリストに従って手術を安全に進めていますのでご紹介します。

1. 「正しい患者さんであること」「手術をする部位が正しいこと」を確認します。

患者さんが手術室の入口に来られた時と患者さんが眠る前の2回のタイミングで、患者さんとともに「正しい患者さんであること」「手術する部位が正しいこと」を声に出し言っていただき、確認しています。その後、手術の開始直前に外科医師、麻酔科医師、看護師でもう一度最終の確認を行っています。何度も同じ確認をさせていただくため疑問に思われるかもしれませんが、患者さんの間違いや手術部位の間違いを決しておこさせないためです。手術中は患者さんが麻酔で眠ってしまうため手術前の確認はとても重要です。

2. 「手術開始時、手術途中で安全確認：タイムアウト」で安全確認を行います。

タイムアウトとは、手術に関わる外科医師、麻酔科医師、看護師、医療スタッフメンバー全員が一斉に手を止めて、患者さんの安全確認（名前、手術部位、手術式、アレルギー、経過など）と情報共有します。アメリカでは、このタイムアウトの実施で手術による合併症が減ったことから、手術安全チェックリストが推奨され、当院でも行っています。

これからも安全の基本を守り、当たり前前のルールを正しく誠実に徹底することを大切にして「この病院で手術をしてよかった。」とっていただけるように取り組んでまいります。

富山ろうさい病院では、毎月、ケーブルテレビ「NICE TV」で放送中の行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2024年9月1日～9月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮) 老年病専門医にご相談ください」

(出演者) 糖尿病・内分泌内科部長 村上 史峰



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>